

70年談話の分析と講演の集い

「安倍政権の現状と私たちの課題」

～歴史を直視し、平和をつくりだすために～

戦後70年の昨年、安倍政権は憲法違反の「戦争法」を強行可決し、今年3月29日に施行させました。そしてこの7月の参議院選挙で、改憲勢力2/3を目指すことを明言しています。そうして、憲法の明文改憲に踏み込み、戦争のできる国づくりを完成させようとしています。このような状況の中、信仰者として安倍70年談話を分析し、講演を聞き・学び・平和をつくりだす歩みへと進むことを願い、集会を企画しました。どうぞおいでください。共に学び、行動していきましょう。

プログラム

第一部 パネラーによる戦後70年談話に対する態度表明

パネラー：カトリック、柴田智悦さん（JEA・日本福音同盟）、瀬底正博さん（NCC・日本キリスト教協議会）

第二部 **講演：中野晃一さん**（上智大学・政治学教授／立憲デモクラシーの会）

講演者紹介

1970年東京生まれ。専門は比較政治学、日本政治、政治思想。2014年4月に結成された立憲デモクラシーの会呼びかけ人。また、「安全保障関連法案に反対する学者の会」メンバーとしてデモの先頭で歩き、「安保法制の押し退けて立憲主義の回復を求める市民連合」を立ち上げる中心となっている。著書に『右傾化する日本政治』（岩波新書）、／共著『いまこそ民主主義の再生を！』（岩波ブックレット）他。

資料代：800円

日時：5月30日（月）18:00～20:30

会場：お茶の水クリスチャンセンター

5階508号会議室

千代田区神田駿河台2-1

JR：中央線・総武線、東京メトロ：丸ノ内線、千代田線の各駅



お問い合わせ

日本キリスト教協議会（NCC）靖国神社問題委員会 協力幹事 大島博幸（090 - 3452 - 7341）